

## 施設整備計画 事後評価シート(総括票)

この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。  
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

### 1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

#### 耐震性の確保を図る整備

【達成状況】

|                    |
|--------------------|
| 計画どおり実施できた。        |
| 計画したが、一部実施できなかった。  |
| 計画したが、すべて実施できなかった。 |

(耐震化率の目標に対する達成状況)

| 学校区分   | 耐震化率(%) |      |
|--------|---------|------|
|        | 目標      | 達成状況 |
| 小学校    | 86.6    | 88.9 |
| 中学校    | 84.9    | 90.8 |
| 高等学校   | -       | -    |
| 特別支援学校 | 100.0   | 100  |
| 幼稚園    | 100.0   | 100  |

【所見】

計画に掲げた耐震補強事業については、すべて実施することができた。  
老朽化の著しい千手小学校、日越小学校及び宮内中学校については、危険改築を実施し、耐震化を進めた。  
平成24年度以降も、平成27年度の耐震化率100%を目指して積極的に取り組んでいくこととする。

#### 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

|                    |
|--------------------|
| 計画どおり実施できた。        |
| 計画したが、一部実施できなかった。  |
| 計画したが、すべて実施できなかった。 |

【 所見 】

本計画期間内の実施なし。

**教育環境の質的な向上を図る整備**

【 達成状況 】

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | 計画どおり実施できた。        |
|  | 計画したが、一部実施できなかった。  |
|  | 計画したが、すべて実施できなかった。 |

【 所見 】

教育環境の改善を図るため、老朽化している施設、設備の改修を実施した(千手小学校ほか9校 空調設備改修、四郎丸小学校・日越小学校 トイレ改修、小国中学校 屋内運動場の大規模改造(屋根・外壁改修等))。また、青葉台中学校にエレベーター及び多目的トイレを整備し、バリアフリー化を推進した。

前計画から検討を行っていた地球環境問題への取組みの一つとして、千手小学校、宮内中学校に太陽光発電を導入した。

東北中学校の校舎大規模改造(屋上防水、外部改修、新学習指導要領に合わせた特別教室の整備等)については、屋内運動場の耐震性が低く耐震補強工事を前倒して実施する必要があったことから、教育環境への影響を考慮し、校舎の大規模改造については次計画において実施することとした。

**施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備**

【 達成状況 】

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | 計画どおり実施できた。        |
|  | 計画したが、一部実施できなかった。  |
|  | 計画したが、すべて実施できなかった。 |

【 所見 】

日越小学校及び千手小学校については危険改築事業に併せて、また黒条小学校については児童・生徒数の増加に伴う設備不足に対応するため、給食施設の改築を実施した。また、千手小学校と平成20年度に新築した和島小学校(和島地域の統合小学校)について、水泳プールを整備した。

宮内中学校について、危険改築事業に併せて、水泳プール、給食施設の改築及び武道場の新築を実施した。

学習指導要領の改訂に伴い、平成24年度から完全実施された中学校での武道必修化に向け、江陽中学校及び寺泊中学校に武道場を新築した。冬季の積雪が多い当市において、特に冬季の屋内運動施設として武道場を有効活用できることから、次計画においても整備を進めることとする。

## 2 事後評価の時期及び方法について

計画に掲げた事業終了後に、教育委員会内において、事後評価を行う。また、評価結果を当市のホームページに公表する。

## 3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計画していた事業について、概ね計画どおりに実施できた。  
次計画以降も、施設の耐久性の確保と教育環境の改善を図るため、喫緊の課題である耐震化事業を積極的に実施する。  
また、施設の老朽化が進んでいることから、財源を活用しながら、施設の保全及び長寿命化を効率的に進めることが、今後の施設整備計画の中心となっている。適切な老朽施設の把握や先進地の事例等の情報収集を進め、引き続き安全・安心な学校施設の整備を実施していく。